

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校 種	教 科	教科用図書目録に掲載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	音楽（一般）	2	2

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行者 観点	1 7 教出	2 7 教芸
基礎・基本の 定着	<p>1 題材や学習目標等の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目次に続く学びのユニットのページに、題材を「学びのユニット」として表記し、題材名を「ユニット名」として示している。 <p>2 歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年の「Let' s Sing」で、キャラクターのセリフで留意点等について示している。 <p>3 創作の基礎・基本の定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「音のスケッチ」として、各学年2つずつの創作の活動を取り上げている。 	<p>1 題材や学習目標等の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目次に続く学習内容のページに、三つの資質・能力と、それに対応する学習内容や教材を図示している。 <p>2 歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年の「My Voice!」で声の出る仕組みについて、図1、図2を用いて説明している。 <p>3 創作の基礎・基本の定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Let' s Create」「My Melody」として、各学年2つずつの創作の活動を取り上げている。
主体的に 学習に 取り組む 工夫	<p>1 音楽的な見方・考え方を働かせる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「感じ取った曲想について」及び「表現を工夫したい点について」をまとめる表の横に、キャラクターの吹き出しで「女声パートを男声パートが追いかけるようになっているのね。」「『生命が羽ばたくとき』の強弱は、mp→mf→f しいに強くなっていくんだね。」と示している。 <p>2 音や音楽を生活や文化などと関連付ける工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音や音楽と生活との関わりについて扱う題材や、学習資料等を 11 か所にわたって掲載している。 	<p>1 音楽的な見方・考え方を働かせる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工夫したい点についてまとめる際の注目するポイントとして「リズム、テクスチュア（音の重なり方）、強弱、構成」を示し、キャラクターの吹き出しで、「『翼をください』の歌い出しの旋律は、なだらかな音の動きだから、落ち着いた雰囲気でも歌いたいな。」「そうだね。伴奏も、4分音符のリズムで静かな感じ。」「でも、強弱記号は歌も伴奏も mf だから、弱々しくしないで、旋律を滑らかに歌いたいな。」「そのためには、息の流れに歌声をのせるイメージで歌えるといいね。」と示している。 <p>2 音や音楽を生活や文化などと関連付ける工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音や音楽と生活との関わりについて扱う題材や、表現者からのメッセージ等を、15 か所にわたって掲載している。

発行者 観点	1 7 教出	2 7 教芸
内容の構成・ 配列・分量	<p>1 我が国の音楽に関する内容の扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箏曲，尺八曲，雅楽，歌舞伎，能，文楽，日本の民謡を，鑑賞教材，歌唱教材として示している。 <p>2 教材の配列及び分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも，歌唱教材，創作，鑑賞教材の順で配列している。その後，「深めてみよう」の歌唱教材・鑑賞教材，合唱曲集，国歌「君が代」，楽典，資料の順で配列している。 	<p>1 我が国の音楽に関する内容の扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箏曲，尺八楽，雅楽，歌舞伎，能，文楽，日本の民謡を，鑑賞教材，歌唱教材として示している。 <p>2 教材の配列及び分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年は，歌唱教材，鑑賞教材，合唱曲集，楽典，国歌「君が代」の順で配列しており，創作については，関連する歌唱教材及び鑑賞教材の後に配列している。 第2・3学年は，歌唱教材，創作，鑑賞教材，合唱曲集，楽典，国歌「君が代」の順で配列している。
内容の 表現・表記	<p>1 〔共通事項〕の指導を充実させる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学びのユニット」の図において，「学びの手がかりとなるヒント」として，題材で扱う音楽を形づくっている要素を濃い色で示している。 ・第1学年及び第2・3学年上の「どんな特徴があるかな？」のページに，音楽を形づくっている要素の内容を，「きらきら星変奏曲」を用いて文章で説明している。 	<p>1 〔共通事項〕の指導を充実させる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素を，見開き左ページ下に示している。 ・資料のページに，音楽を形づくっている要素の内容を図や音楽記号で説明し，掲載している。
言語活動の 充実	<p>1 表現及び鑑賞領域における言語活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「春」の鑑賞活動で，「ソネットと音楽の関わりで，いちばんおもしろいと思ったところを，みんなに紹介する文章を書いてみよう。」と示している。 ・気がついたことや感じ取ったことを記録する欄がある。 	<p>1 表現及び鑑賞領域における言語活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「この曲のどのようなところによさを感じましたか。また，その理由も発表し合いましょう。」と示している。キャラクターの吹き出しでは，「B」でヴァイオリンの独奏が小鳥の鳴いている様子をまねているのが印象的でした。「爽やかな部分と激しい部分の対比がかっこいいと思いました。」と示している。 ・「春」の鑑賞活動で，「音楽を聴き，それぞれの部分について，聴き取ったことと，感じ取ったことを書き入れましょう。」と示し，記入する表がある。